

仕事と生活の調和推進に向けた取組の加速化について

(女性の継続就業の促進等に向けて)

平成 26 年 10 月 8 日

日本生産性本部資料

- 女性の継続就業の促進については、「ワーク・ライフ・バランス推進会議」および「ワーキングウーマン・パワーアップ会議」の二つの民間運動を両輪として展開しているところであり、これら活動を通じて中央および地方における啓発活動を中心に一層の推進。
- 前者は、主として両立支援、後者は女性が従事する仕事の質や処遇の向上に取り組むことによって、女性の活躍推進を加速化させることを狙い。
- 後者の「ワーキングウーマン・パワーアップ会議」においては、毎年以下の取組を実施。「エンパワーメント大賞」※の実施（年内に募集開始）、「エンパワーメントフォーラム」の開催（平成 27 年 2 月 20 日開催予定）、メルマガ「パワーアップ通信」の発行、アピール等の発表など。
※当初は、「メンター大賞」として、女性活躍推進のためのメンター育成に主眼を置いて実施。徐々に「ダイバーシティ」推進を目指す取組の表彰へ。
※「ワーク・ライフ・バランス大賞」の表彰企業でも、時短、子育て支援中心から年々、介護との両立支援。男性の育児参加がアピールポイントに変化。
- 毎年、「コア人材としての女性社員育成に関する調査」を実施。2013 年調査結果（一部）では以下のような特徴（2014 年調査は現在実施中）。
 - ・女性社員の活躍の推進上の課題 女性社員の意識（80.3%）、管理職の理解・関心（56.9%）、育児等家庭的負担（56.6%）男性社員の意識（39.3%）
 - ・女性社員の活躍の推進と組織の生産性・向上との関係性 認識されている（85.8%）うち効果が表れている（28.6%）数年後の効果（23.4%）
- これら活動に関連する日本生産性本部の具体的な取組として、「女性活躍力総合診断」のほか、企業に対する教育研修を実施。女性のパワーを仕事のスキル・能力、価値創造、ネットワーク形成を中心とした 3 つの観点から支援方策を検討。（サイト「エンパワーメント・ボックス」の整備により発信）